

資料 4



NPO法人 豊山町まちづくりサポーター

まちサポ！

豊山町が好き、という仲間が、

豊山町の魅力をもっと知ってほしい
豊山町で何かおもしろいことをしたい

そんな気持ちで集まりました

何をしよう
何ができるだろう

ワクワクしながら豊山町を楽しくすることを考えています

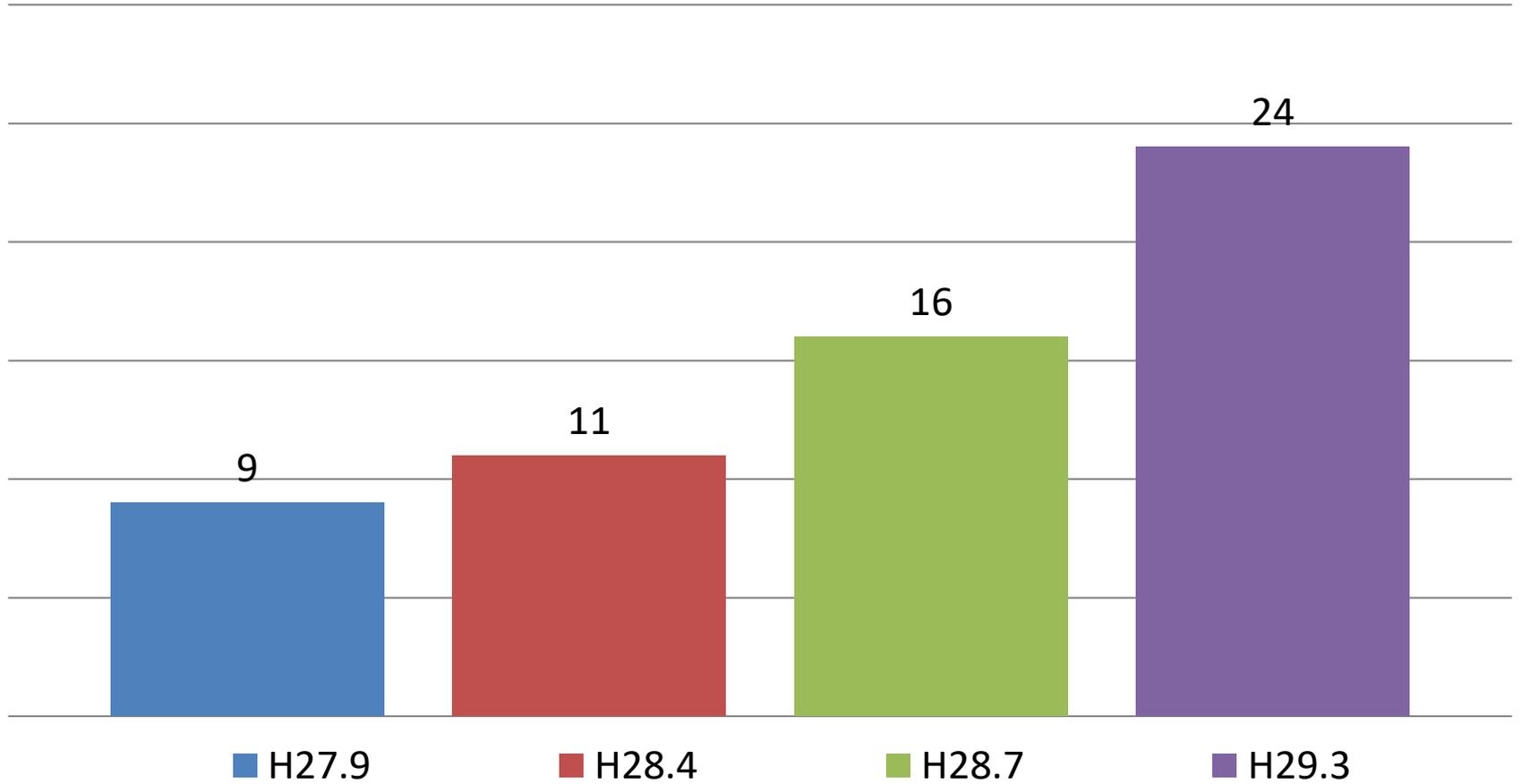
行政も協力してくれます
行政と住民がひとつになって、いっそう素敵なまちにします

みんなと一緒に、豊山で楽しく、豊山を楽しくする、
それが私たち、チーム『まちサポ！』です

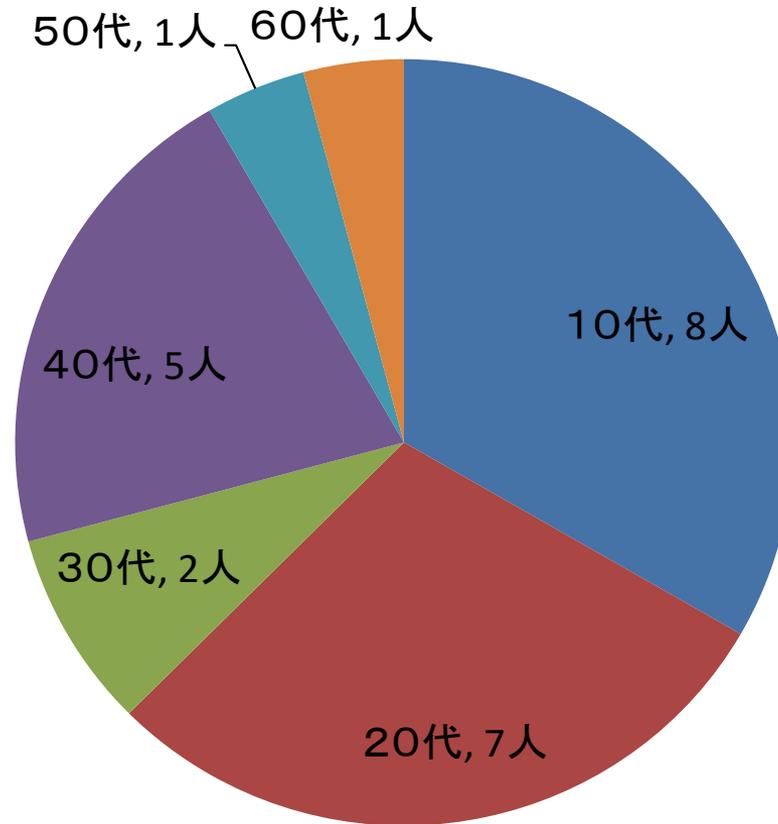


H29. 1. 27 NPO認証

会員数



会員の年代



インターネットラジオ

豊山 月刊 2016年(平成28年)9月2日(金曜日)

豊山の魅力 若者トーク



「まちサポ」ネット番組、月2回更新

豊山町民のボランティア団体「豊山町まちサポ」(まちサポ)が、春から始めた、町の魅力を紹介するインターネット上の番組「Tovoyama Days (トヨヤマ デイズ)」を毎月一回更新する。(藤原啓輔)

「豊山町はリリーの食の思い出を振り返り、イチロー選手の出身地、進校の準備中、給食に野菜を細かく切ったイチローカレーが出るとは、うれしかった。」「好きなおかずを選んで、1日に1人ずつ食べる。」「食へられるハイキング給食もあった。」

同日収録で八月十二日にあった番組の収録。まちサポのメンバー大勢、二〇一五年九月に加入し、名古屋市長、結成、高校生や社会人、人文社芸学部一年の豊山七人が参加する。大学や巧美さん(とと中京大心)高校に進学し、新しく豊山町理学部二年の飯山穂奈美さん(とと中京大心)が豊山の魅力を語り、聴いたかと思ふ。多くのメンバーが、町の魅力を語り、聴いたかと思ふ。まちサポのメンバーが、町の魅力を語り、聴いたかと思ふ。

まちサポは町が有志を増やそう。収録に初めて参加した。九月からは番組の編集を手がけ、話の準備を。九月からは番組の編集を手がけ、話の準備を。九月からは番組の編集を手がけ、話の準備を。

まちサポは町が有志を増やそう。収録に初めて参加した。九月からは番組の編集を手がけ、話の準備を。九月からは番組の編集を手がけ、話の準備を。九月からは番組の編集を手がけ、話の準備を。

まちサポは町が有志を増やそう。収録に初めて参加した。九月からは番組の編集を手がけ、話の準備を。九月からは番組の編集を手がけ、話の準備を。九月からは番組の編集を手がけ、話の準備を。

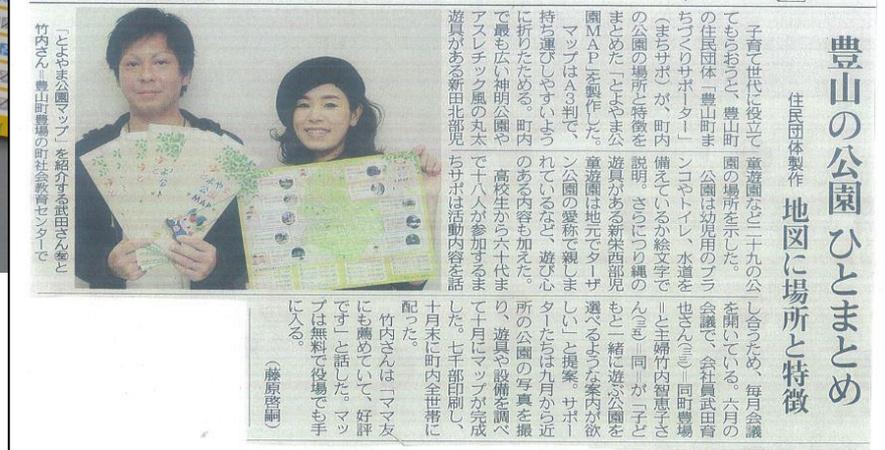
毎月更新

豊山の大学生・高校生が地域に根差した番組を制作！

公園マップ



【日付】平成28年11月12日(土)
 【新聞名】中日新聞(近郊版)



「ぶるっむ」に取り上げられました

「ぶるっむ」は、
豊山町・小牧市に全戸配布(52,300部)
されるフリーペーパーです。



町民討議会議・シンポジウム



(第3種郵便物認可)

豊山 知名度向上へ一案

町民議論 学生ら寸劇で問題提起

豊山のまちづくり「豊場の町社会教育センター」が考える「町民ター」であった。討議会議・シンポジウムが二十二日、同町「る」のために町が二〇一一年度を開始。過去の討議会議に出席した町民二百人の中から四十人が参加した。

話し合いの前に、町民のボランティア団体「豊山町まちづくりサポーター」の高校生と大学生が「井の中の豊山町」というタイトルの寸劇を披露。町の知名度が低いと感じた現状をユーモアを交えて演じ、問題提起した。

参加者たちは寸劇を受け、町の魅力を高める方法を八班に分かれて議論した。各班の代表者は「MRJ(三菱リ―ショナルジェット)を造っている三菱航空機が地元にあることを生かした産業観光ツアーを実施する」「名古屋市の公共交通の便を良くする」などと発表した。

参加した名古屋北高校二年の宮崎圭吾さん(一七)「同町豊場」は、「いろんな人の意見を聞いたおかげで町の課題に気づけて、有意義だった」と話した。

(藤原啓嗣)

寸劇を披露する「まちづくりサポーター」のメンバーたち。豊山町豊場の町社会教育センターで



豊山の「まちサポ」がNPO法人化

航空産業の観光PRに力



伊藤さん(中央)からバルーンアートを学ぶ会員ら＝豊山町役場で

豊山町民によるボランティアグループ「豊山町まちづくりサポーター(まちサポ)」が、活動の幅を広げるためNPO法人化した。航空産業に関する観光をPRするなどして、町の活性化を進める。(藤原啓嗣)

同グループは二〇一五年に結成され、高校生からお年寄りまで二十人が所属。町をPRする動画をインターネットで配信したり、町内の飲食店や公園を分かりやすく示した地図を作ったりしてきた。

団体として資金を持ち、他団体と連携しやすくして活動の場を広げようと、昨年秋から法人化の準備を進め、今月三日に登記を終えた。定款によると、航空産業に関する観光と、まちづくりに関する事業を行うとしている。

法人化して初の会合が四日に町役場であり、同町豊場の商業施設「エアポートウォーク名古屋」で三月十一日に開く催しの打ち合わせをした。当日はバルーンアートで作った飛行機の飾りを並べ、子どもたちにプロックを飛行機の形に組み立ててもらい、航空産業が盛んな地元をPRする。会員は、三重県四日市市のバルーンアート作家伊藤輝彰さん(四七)から、細長い風船を組み合わせる飛行機の飾りの作り方を習った。代表の今村一正さん(四七)は「町の特産品の開発も検討している。若い会員の意欲も高まるはず」と話した。

NPO化

「とよやまヒコーキフェスティバル」

H29. 3. 11 エアポートウォークで開催



企画中のプロジェクト

- 新名物開発
- 町民団体交流会
- 「Ingress」マップ ※Ingress(町の史跡などをめぐるゲーム)
- 中学生とタイアップした豊山の歴史研究
- 産業まつりにおけるカフェコーナー
- ギネスに挑戦
- (将来的に)神明公園にカフェ開設